

行政事業レビューシート (総務省)						
予算事業名	ネットワーク統合制御システム標準化等推進事業		事業開始年度	平成21年度		作成責任者
担当部局庁	情報通信国際戦略局		担当課室	通信規格課		課長 小笠原 陽一
会計区分	一般会計		上位政策	情報通信技術研究開発推進費		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第74号		関係する計画、通知等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	住宅・職場・工場・公共施設、車等の各分野で、「ネットワークに接続された情報通信端末等の使用状況等の情報を検知・計測して統合的に制御」するICTシステムの標準化を推進する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	環境負荷低減に資する通信インターフェースや、ワイヤレスシステムに関する技術規格を策定するとともに、当該規格の検証を行うことにより、標準化を推進する。					
実施状況	財務省に対し、平成22年度への事業繰越を要望し、承認がなされた。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	—	6,897	0	0
	執行額	—	—	0		
	執行率	—	—	0%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	0		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	委託先については公募を実施して採択する予定であり、用途については申請段階で経費の内訳を提出させるとともに、額の確定時においても使用した経費について、精査する予定。 なお、現在、国において、採択案件の選定を行っているところであるため、支出先・用途の把握水準・状況を把握することは困難である。				
	見直しの余地	本事業は平成21年度第二次補正予算であり、より十分な成果を得るためには、早期の執行を行い、十分な事業期間を確保することが必要。				
予算チームの監視・所見率	廃止 (21年度で廃止)					
補記	全額を翌年度に繰越					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

ネットワーク統合制御システム標準化等推進事業

住宅・職場・工場・公共施設、車等の各ネットワーク統合制御システムの共通化・低廉化に資する通信基盤等の標準化を推進

1 施策の概要

住宅、職場、工場、公共施設、車等の各分野で「ネットワークに接続された情報通信端末等の位置情報や使用状況等の情報を検知・計測して統合的に制御」するネットワーク統合制御システムの研究開発が進展している状況にある。

しかしながら、これらのシステムは、「適応分野」・「開発業者」ごとに垂直統合で構築されてきたため、費用負担が増大する構造になっている。また、システム・製品間の連携が図れていないため、利用者にとって十分な利便性が確保されているとは言えない。

そのため、各システムの共通化に資する情報通信に係る基盤技術等について、実証実験等を実施し、その標準化を推進することにより、費用負担が増大する構造からの脱却を図るとともに、環境負荷の低減にも資する。

2 イメージ図

